

報道関係者各位

トランス・コスモス株式会社と自治体 DX に関する連携協定を締結 ～連携でデジタルによる地域の課題解決へ～

茨木市は、令和7年2月3日（月）にトランス・コスモス株式会社（東京都渋谷区、代表取締役共同社長：牟田正明、神谷健志）と「自治体DXに関する連携協定」を締結しました。

本市では、DXを「ICTを活用し、市民の皆さまの生活の質（QoL:クオリティ・オブ・ライフ）の向上をめざして、行政サービスの提供方法を抜本的に変えること」と捉え、市民の皆さまが豊かさや幸せを実感できる心地いいまちの実現に向け、DXの推進に取り組んでいます。

今回の連携協定は、相互に密接に連携し、それぞれの資源を有効に活用することにより地域課題の解決をはかり、地方創生の実現に資することを目的としています。



協定締結式の様子（2/3撮影）

左：福岡 洋一 茨木市長

右：所 年雄 トランス・コスモス株式会社 常務執行役員

■主な連携内容

- ・保活アプリ※¹の実証に関すること
- ・保育所入所に係る業務改善に関すること
- ・フロントヤード改革※²に関すること
- ・DX人材の育成に関すること など

※1 保育施設に関する情報収集機能や、保護者に合わせた ToDo リストの自動生成機能などを備え、保育施設の利用手続きを行う保護者の負担を軽減するアプリケーション。

※2 マイナンバーカードを活用した住民との接点の多様化・充実化や、窓口業務の改善などを通じて、市民の利便性向上と業務効率化を図る取組。

■茨木市：福岡洋一 市長コメント

保育所入所、市役所窓口など、市民の皆さまの負担軽減、手続の簡素化に挑戦していきます。

■トランス・コスモス株式会社：所年雄 常務執行役員コメント

本連携により、生まれる新たな価値を多くの市民の皆さまに提供し、茨木市のデジタル・トランスフォーメーション（DX）推進を全面的にサポートしてまいります。

■（参考）連携協定締結式の概要

日時：令和7年2月3日（月）、午後1時00分～1時20分

場所：茨木市役所（茨木市駅前三丁目8-13）

出席者：茨木市長 福岡洋一、トランス・コスモス株式会社 所年雄常務執行役員ほか